

14時30分解禁

平成23年7月 全国百貨店売上高概況

平成23年8月18日

I. 概況

1. 売上高総額	6,006億円余
2. 前年同月比	-0.1% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	86社 255店 (平成23年6月対比±0店)
4. 総店舗面積	6,944,891㎡ (前年同月比: 6.9%)
5. 総従業員数	89,821人 (前年同月比: -4.9%)
6. 3か月移動平均値	12-2月 -0.8%、1-3月 -5.4%、2-4月 -5.8%、 3-5月 -6.5%、4-6月 -1.2%、5-7月 -0.7%

[参考] 平成22年7月の売上高増減率は-1.4% (店舗数調整後)

【7月売上の特徴】

2か月ぶりの前年同月比マイナスであるが、減少幅は小さくほぼ前年並みの水準で推移した。また、中期トレンドを示す3か月移動平均値も前年水準まで回復してきた。

7月は、震災による経済への影響が薄らぎ、景気の持ち直しと消費マインドの回復が続いたことを背景に、宝飾品や特選衣料雑貨など高額商材(美・宝・貴: +5.3%、身のまわり: +3.8%)が前年を上回る動きを見せた。また、中旬までの猛暑と節電意識の高まりで、クールビズや涼感寝具など暑さ対策商材が引き続き活況であったが、台風6号の上陸とそれに続く気温低下の影響を受けて、月の後半は入店客数が伸び悩むとともに、衣料品を中心に盛夏商材が苦戦したことなどから、最終的には前年実績をわずかに下回る結果となった。

具体的な動向としては、中元商戦が早期受注の反動から7月はやや低調に推移したことなどマイナス要素がある一方、プラス要素としては、震災後の復興需要で東北地区(仙台: +7.7%、東北: +5.8%)が活況であること、日曜日が前年に比べ1日増だったこと、家庭回帰・肉食志向で食器や調理器具(その他家庭用品: +2.6%)が伸びを示していること、などが報告されている。

【要因】

- (1) 天候 : 気象庁発表「7月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)
 - ◇ 上旬は北日本に、また中旬には東日本に南からの暖かい空気が流れ込んだため、記録的に気温が高かった。また、中旬後半の台風6号の上陸で大雨の地域があったほか、月末には新潟・福島豪雨で甚大な被害が発生した。
- (2) 営業日数増減 30.9日 (前年同月比-0.1日)
- (3) 土・日・祝日の合計 11日 (" +1日/日曜1日増)
- (4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 43店、②変化なし: 32店、③減少した: 55店、④不明: 44店
- (5) 7月歳時記(夏祭り/七夕・花火大会等、新暦お盆、夏休み)の売上(同上)
 - ①増加した: 11店、②変化なし: 61店、③減少した: 26店、④不明: 76店
- (6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 16店、②変化なし: 75店、③減少する: 31店、④不明: 52店

全国百貨店 売上高速報 2011年07月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	600,663,331	100.0	-0.1 (0.1)
10都市	395,215,065	65.8	-0.2 (0.6)
札幌	14,111,116	2.3	-2.2
仙台	9,153,432	1.5	7.7
東京	144,156,883	24.0	-1.3 (-1.8)
横浜	34,149,708	5.7	2.3 (1.5)
名古屋	36,233,842	6.0	1.1 (-3.9)
京都	23,221,351	3.9	-0.5 (-2.7)
大阪	81,966,497	13.6	1.0 (5.1)
神戸	17,085,914	2.8	-1.6
広島	15,289,434	2.5	-0.7
福岡	19,846,888	3.3	-4.7 (15.0)
10都市以外の地区	205,448,266	34.2	0.2 (-0.9)
北海道	3,072,595	0.5	-4.3
東北	9,590,297	1.6	5.8 (-10.1)
関東	97,042,606	16.2	-0.3 (-0.6)
中部	16,167,105	2.7	-2.3
近畿	19,213,413	3.2	2.4
中国	14,131,359	2.4	-0.8
四国	11,873,327	2.0	-0.1
九州	34,357,564	5.7	1.4 (0.1)

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	600,663,331	100.0	-0.1 (0.1)
紳士服・洋品	38,339,771	6.4	-0.2 (0.9)
婦人服・洋品	135,969,983	22.6	-0.8 (-1.4)
子供服・洋品	13,383,873	2.2	-0.8 (0.4)
その他衣料品	15,233,034	2.5	-3.2 (-3.6)
衣 料 品	202,926,661	33.8	-0.9 (-1.1)
身のまわり品	73,478,806	12.2	3.8 (4.3)
化粧品	27,882,657	4.6	2.4 (2.5)
美術・宝飾・貴金属	25,707,223	4.3	5.3 (5.6)
その他雑貨	20,997,967	3.5	-2.9 (-2.7)
雑 貨	74,587,847	12.4	1.8 (2.0)
家 具	7,575,824	1.3	0.9 (1.1)
家 電	1,694,251	0.3	0.9 (0.9)
その他家庭用品	18,465,615	3.1	2.6 (2.7)
家 庭 用 品	27,735,690	4.6	2.0 (2.1)
生 鮮 食 品	38,054,061	6.3	-2.3 (-2.3)
菓 子	43,775,729	7.3	0.4 (1.5)
惣 菜	32,945,554	5.5	0.8 (1.6)
その他食料品	74,011,731	12.3	-3.5 (-3.7)
食 料 品	188,787,075	31.4	-1.6 (-1.3)
食 堂 喫 茶	17,058,788	2.8	4.7 (7.0)
サ ー ビ ス	5,380,063	0.9	-3.7 (-5.4)
そ の 他	10,708,401	1.8	-5.3 (-6.1)
商 品 券	30,283,477	5.0	-10.0 (-10.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -0.2% (店舗数調整後 / 2か月ぶりマイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | 0.2% (// / 2か月連続プラス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-0.2	-0.2	2か月ぶりマイナス
札幌	-2.2	-0.1	3か月連続マイナス
仙台	7.7	0.1	3か月連続プラス
東京	-1.3	-0.3	2か月ぶりマイナス
横浜	2.3	0.1	4か月連続プラス
名古屋	1.1	0.1	2か月連続プラス
京都	-0.5	0.0	5か月連続マイナス
大阪	1.0	0.1	4か月連続プラス
神戸	-1.6	0.0	3か月連続マイナス
広島	-0.7	0.0	2か月ぶりマイナス
福岡	-4.7	-0.1	36か月連続マイナス
10都市以外の地区	0.2	0.1	2か月連続プラス
北海道	-4.3	0.0	9か月連続マイナス*
東北	5.8	0.1	4か月連続プラス*
関東	-0.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
中部	-2.3	-0.1	5か月連続マイナス
近畿	2.4	0.1	4か月連続プラス
中国	-0.8	0.0	2か月ぶりマイナス*
四国	-0.1	0.0	49か月連続マイナス
九州	1.4	0.1	2か月連続プラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、家庭用品が2か月連続、身のまわり品が5か月ぶり、雑貨が41か月のプラス。マイナスは衣料品、食料品。また、美術・宝飾・貴金属、その他家庭用品、菓子が2か月連続、惣菜が3か月連続、家電が2か月ぶり、化粧品が5か月ぶり、家具が44か月のプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.1	-	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-0.2	0.0	2か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-0.8	-0.2	5か月連続マイナス
子供服・洋品	-0.8	0.0	3か月連続マイナス
その他衣料品	-3.2	-0.1	41か月連続マイナス
衣料品	-0.9	-0.3	5か月連続マイナス
身のまわり品	3.8	0.4	5か月ぶりプラス
化粧品	2.4	0.1	5か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	5.3	0.2	2か月連続プラス*
その他雑貨	-2.9	-0.1	44か月連続マイナス*
雑貨	1.8	0.2	41か月ぶりプラス
家具	0.9	0.0	44か月ぶりプラス
家電	0.9	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	2.6	0.1	2か月連続プラス
家庭用品	2.0	0.1	2か月連続プラス
生鮮食品	-2.3	-0.2	2か月ぶりマイナス*
菓子	0.4	0.0	2か月連続プラス*
惣菜	0.8	0.0	3か月連続プラス*
その他食料品	-3.5	-0.4	3か月ぶりマイナス*
食料品	-1.6	-0.5	3か月ぶりマイナス
食堂喫茶	4.7	0.1	2か月連続プラス
サービス	-3.7	0.0	8か月連続マイナス
その他	-5.3	-0.1	2か月ぶりマイナス
商品券	-10.0	-0.6	5か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成23年7月 東京地区百貨店売上高概況

平成23年8月18日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,441億円余
2. 前年同月比	-1.3% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.5%(90.6%) : 非店頭-8.6%(9.4%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成23年6月対比±0店)
5. 総店舗面積	919,001㎡ (前年同月比:-1.6%)
6. 総従業員数	19,283人 (前年同月比:-7.6%)
7. 3か月移動平均値	12-2月 0.8%、1-3月 -6.6%、2-4月 -9.2%、 3-5月 -10.7%、4-6月 -3.1%、5-7月 -1.7%

[参考] 平成22年7月の売上高増減率は-1.7%

【7月売上の特徴】

- (1) 都内の商況は台風6号を境に大きく転換したが、特に入店客数については、下旬からの天候不順の影響を受けて、各店共に前年同月比で概ね3%~4%の減少であった。
- (2) 東京地区でも高額品が好調に推移した。富裕層における購買意欲の回復やブライダル需要の高まりを背景に、婦人アクセサリー、宝飾・貴金属、高級時計などがよく動いた。
- (3) 都内の中元商戦は、全国の傾向と同様に、滑り出し好調に推移した前半戦の勢いを持続出来なかったが、6月~7月の期間合計ではほぼ前年並みの結果となった。
- (4) 半袖ワイシャツを中心にクールビズ関連商材は引き続き好調であったが、その反面、スーツやジャケットなどの重衣料は低調であった。
- (5) 夏の季節商材である浴衣(ゆかた)は、都内及び近郊で開催される花火大会など地域行事の相次ぐ中止・延期の影響を受けて、やや苦戦を強いられた。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 30.6日 (前年同月比-0.4日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
①増加した: 3店、②変化なし: 3店、③減少した: 13店、④不明: 2店
- (3) 7月歳時記(夏祭り/七夕・花火大会等、新暦お盆、夏休み)の売上(同上)
①増加した: 2店、②変化なし: 6店、③減少した: 4店、④不明: 9店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
①増加する: 2店、②変化なし: 9店、③減少する: 6店、④不明: 4店

東京地区百貨店 売上高速報 2011年07月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	144,156,883	100.0	-1.3 (-1.8)
紳士服・洋品	10,957,527	7.6	0.4 (0.2)
婦人服・洋品	30,538,867	21.2	-2.5 (-4.3)
子供服・洋品	2,349,668	1.6	-1.1 (-1.1)
その他衣料品	2,869,137	2.0	-15.1 (-15.2)
衣 料 品	46,715,199	32.4	-2.7 (-3.9)
身のまわり品	19,408,938	13.5	2.0 (0.3)
化粧品	6,672,796	4.6	1.1 (-1.3)
美術・宝飾・貴金属	6,827,222	4.7	7.4
その他雑貨	6,562,018	4.6	-2.2 (-2.5)
雑 貨	20,062,036	13.9	2.0 (1.1)
家 具	2,165,605	1.5	-6.1 (-6.3)
家 電	635,700	0.4	4.0
その他家庭用品	4,979,672	3.5	4.2 (4.2)
家 庭 用 品	7,780,977	5.4	1.1 (1.1)
生 鮮 食 品	6,408,991	4.4	-0.5 (1.5)
菓 子	10,382,447	7.2	-2.9 (-2.1)
惣 菜	7,371,473	5.1	-0.4 (0.9)
その他食料品	16,833,953	11.7	-3.2 (-2.6)
食 料 品	40,996,864	28.4	-2.2 (-1.2)
食 堂 喫 茶	3,779,672	2.6	9.6 (9.0)
サ ー ビ ス	2,030,283	1.4	-6.8 (-10.7)
そ の 他	3,382,914	2.3	-17.1 (-17.1)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	6,811,487 千円	-19.6 (-19.8)
従 業 員 数	19,283 人	-7.6
店 舗 面 積	919,001 m ²	-1.6

営 業 日 数	30.6 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、家庭用品が2か月連続、身のまわり品と雑貨が5か月ぶりのプラス。マイナスは衣料品、食料品。また、紳士服・洋品、美術・宝飾・貴金属、その他家庭用品が2か月連続、家電が2か月ぶり、化粧品が5か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-1.3	—	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	0.4	0.0	2か月連続プラス
婦人服・洋品	-2.5	-0.5	5か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.1	0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-15.1	-0.3	39か月連続マイナス
衣料品	-2.7	-0.9	2か月ぶりマイナス
身のまわり品	2.0	0.3	5か月ぶりプラス
化粧品	1.1	0.0	5か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	7.4	0.3	2か月連続プラス*
その他雑貨	-2.2	-0.1	38か月連続マイナス*
雑貨	2.0	0.3	5か月ぶりプラス
家具	-6.1	-0.1	4か月連続マイナス
家電	4.0	0.0	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	4.2	0.1	2か月連続プラス
家庭用品	1.1	0.1	2か月連続プラス
生鮮食品	-0.5	0.0	4か月ぶりマイナス*
菓子	-2.9	-0.2	2か月ぶりマイナス*
惣菜	-0.4	0.0	3か月ぶりマイナス*
その他食料品	-3.2	-0.4	6か月連続マイナス*
食料品	-2.2	-0.6	2か月ぶりマイナス
食堂喫茶	9.6	0.2	2か月連続プラス
サービス	-6.8	-0.1	2か月連続マイナス
その他	-17.1	-0.5	2か月ぶりマイナス
商品券	-19.6	-1.1	3か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>